

高齢者福祉施策

平成30年5月10日（木）

広島県広島市

厚生文教委員会

高齢者いきいきポイント事業

1.導入の経緯

- ・平成5年より70歳以上の高齢者に公共交通機関利用助成を実施（※高齢者の社会参加促進）

【成果】

- ・目的に沿って一定の役割を果たしてきた

【課題】

- ・対象となる高齢者に利用券を一律支給のため制度本来の目的に沿った利用の可否の検証ができない

- ◆この課題を解消し制度本来の目的を生かしながら、よりの確かつ効果的に高齢者による社会参加促進を目指して・・・

高齢者いきいきポイント事業

平成29年度よりスタート

【制度の特徴】

☆高齢者個々の活動実績に

基づいた支援が行える新制度

2.事業の概要

(1) 目的

高齢者の社会参加への意欲を具体的な活動に結びつけるきっかけづくりとして地域のボランティア活動や介護予防・健康増進に資する活動の実績に基づく支援を行い、的確かつ効果的に高齢者の社会参加を促進するとともに、高齢者の生きがいくりを推進する

(2) ポイント付与期間

毎年9月1日から翌年8月31日まで

(3) 対象者

9月1日現在、広島市に住所を有する70歳以上

(4) 年間獲得ポイント数 (奨励金) の上限

70P (7,000円) ※1Pは100円に換算

※公共交通機関利用助成 (上限3,000円) を
受けていない人は、100P (10,000円)

(5) 活動団体の募集と登録

ア 応募要件

- 事業の趣旨を理解し広島市に団体登録すること
- スタンプを管理・押印できる正副責任者を必ずおくこと
- 活動の参加者（高齢者）を広く受け入れること
- 自らの健康づくり・介護予防に取り組む活動は
- 最低でも月1回以上の定期的・継続的な活動が見込まれること
- 暴力団でないこと（構成員、その家族を含む）

イ 募集期間

随時受付

(6) ポイント付与の対象となる活動

①地域の支え手となるボランティア活動 (2P・4P)

子育て・介護支援、高齢者の見守り、児童の登下校の見守りなど

②健康診査等の受診 (2P)

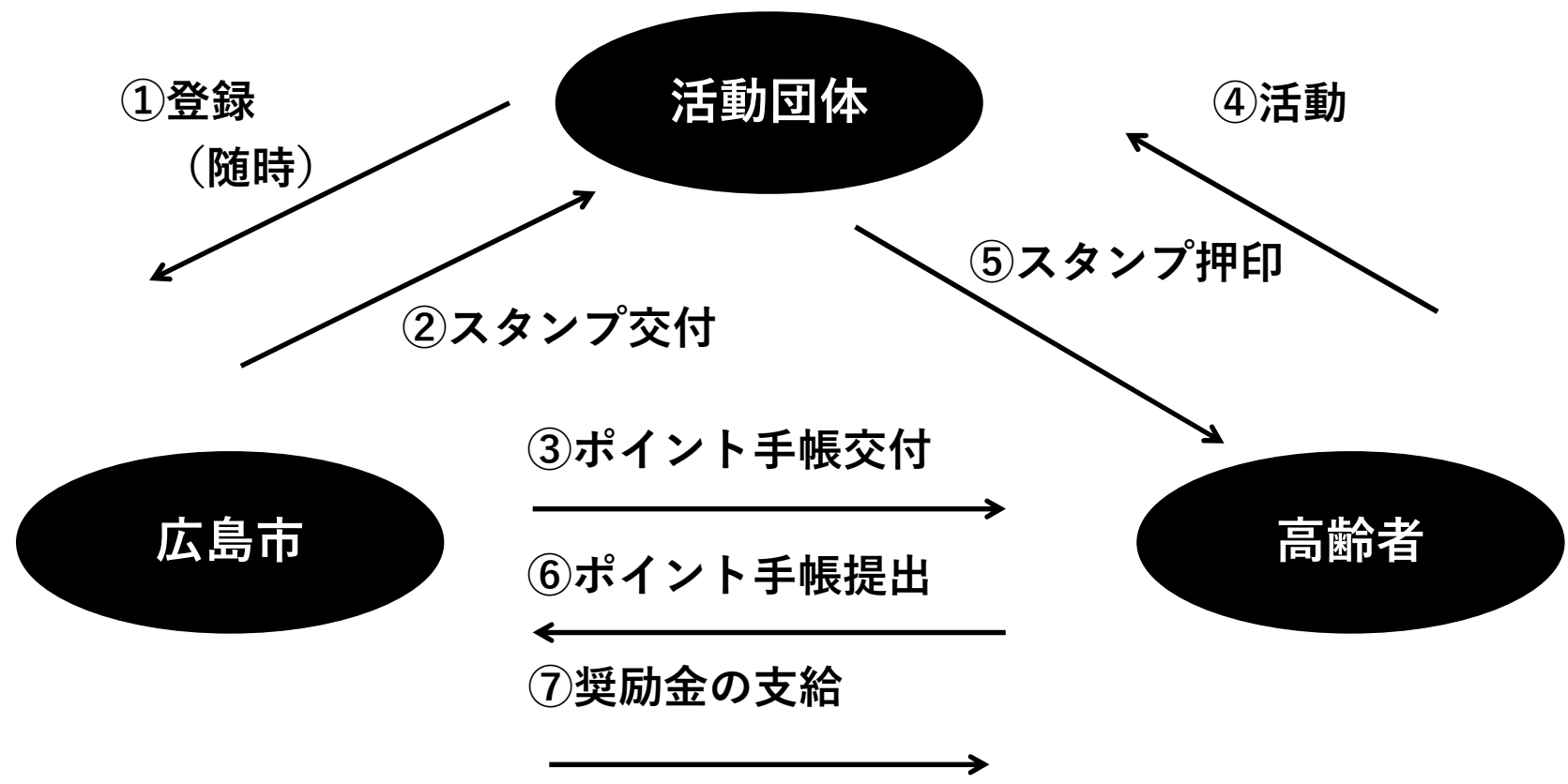
特定健康診査、がん検診、節目年齢歯科検診等

③自らの健康づくり・介護予防に取り組む活動
(1P)

介護予防教室、高齢者サロンへの参加、グランドゴルフ

趣味のサークル活動、フィットネスクラブ、地域で行うラジオ体操への参加等

(7) ポイント付与の流れ



3.事業の実施状況

(1) 対象者数

181,105人（平成29年9月1日現在）

(2) 活動団体登録件数

平成29年5月15日～8月31日

（ポイント事業開始前） 7,009団体

平成30年2月28日現在 10,959団体

(3) 利用者の声

ア 高齢者

- 交通費の助成とは違って、この事業はやる気を引き出すので期待している
- 事業の制度の概要が分かりにくい
- 活動すればスタンプを押してもらえるので、参加する楽しみが増えた
- どんな団体が登録されているのかわからない
- 色々なところでスタンプを押してもらえるようにしてほしい

- ポイント手帳のサイズが大きい
- 生きがいを見つけるため、何かボランティアをしてみたいと思った

イ 活動団体

- 地域が明るくなる
- ポイント制度の概要が分かりにくい
- 最近参加者が減ったが制度のおかげで参加者が増えた
- スタンプを押す管理者の負担が増えた

4.課題と対応

- (1) 運用面の疑義・統一性の確保等の対応策をまとめ、事業の趣旨及び制度内容の周知徹底
- (2) 高齢者の活動参加の機会を増やすよう、活動団体の増加に向けたサロン等の立ち上げ支援
- (3) 高齢者や活動団体へのアンケート調査などにより、団体の活動頻度や参加人数、高齢者の活動への参加回数が増減の把握等の効果検証

5.視察を終えて（所感） ～高齢者いきいきポイント事業～

◇従来の「高齢者公共交通機関利用助成事業」の抱える課題を精査し、代替策として考案された当事業の展開により本来の目的であった①高齢者の社会参加。②高齢者の生きがいづくり。に大きく寄与し地域を築いてこられた現在の高齢者の皆さんが、いきいきと活動することで地域が活気づき明るくなる。（利用者の声より）

大変すばらしい事例である。と思うと同時に、高齢者個々人が生きがいを持って頑張ることは認知症対策という観点からも大きな効果が期待できるものであると感じました。